

テックドクターによる症例検討会での助言 (宮崎県道路メンテナンス会議)

<概要>

令和5年度 宮崎県道路メンテナンス会議(技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上やマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とし、各地公体の症例を基に道路施設での健全度判定や補修・補強技術など、地公体が悩んでいる案件について助言を受けた。

・開催日:令和5年7月21日(金)

・出席者:TEC-Doctor 宮崎大学 森田千尋 教授、テックシニアーズ、西日本高速道路(株)、宮崎県内26市町村 宮崎県、九州地方整備局道路部、九州道路メンテナンスセンター、宮崎河川国道事務所

会議・打合せ状況



【日向市】市道 東郷橋御児線 東郷橋(トウゴウハシ)

事例①: 上部工鋼材の腐食及びP4橋脚の基礎工洗掘について

- ・鋼材腐食は、周辺の植生により風通しが悪い、橋面からの漏水により湿潤状態で腐食が進行したことが、劣化原因。橋面防水工等の腐食原因の除去、防腐剤取替え、塗替え塗装工により耐久性、防食機能の回復を見込んでいる。
- ・基礎工洗掘は、河川の流行変化や全体的な河床の低下が劣化原因。根固めブロック、根固めコンクリート打設による洗掘防止工を計画している。
- ・通常、水中部の洗掘は定期点検では水があるので実施できない状況であるが、点検できずに大雨の後に橋脚が倒れて上部工が損傷し、通行止めとなった事例もあるので、状況の把握を継続しておこなうことが必要である。

【日南市】市道 山之田1号線 二反田橋(ニタンダハシ)

事例②: 旧橋部において主桁の剥離及び鉄筋損傷について

- ・床板の防水化、断面修復、ひび割れ補修等も検討しているが、断面も2m程度なのでボックス形状で架替えがよいのか。
- ・浮き、剥離部は中性化領域を除去し、断面修復。鉄筋損傷については中性化部分を除去し、錆びた部分は新たに鉄筋を配置する補修計画は可能である。
- ・補修となると時間と費用がかかるので、この程度の断面であれば架替え案との比較検討も必要である。